

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	八女総合療育館（こんばす・こんばすⅡ・こんばすⅢ・藤家）		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	85	(回答者数) 47
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 28
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種による専門的支援体制と学齢期への継続支援	医師をはじめとした多職種が連携し、児童発達支援からの継続性を踏まえた支援を実施しています。学齢期における集団適応や行動面への課題にも対応した支援を提供しています。	学校生活との連続性を意識し、無理のない形で社会性や生活スキルの向上を図っています。
2	広域かつ柔軟な送迎体制の整備	朝7時からの送迎を実施し、黒木町から八女市・筑後市・広川町まで広域に対応しています。放課後および土曜日・祝日においても送迎体制を整え、保護者の負担軽減と利用のしやすさに配慮しています。	保護者の就労状況や家庭環境に配慮し、柔軟な受け入れ体制を整えています。
3	生活場面を含めた継続的な支援と評価	平日は放課後から18時まで、土曜日・祝日は9時～17時（希望に応じて18時まで）支援を行い、活動場面に加えて生活面や対人関係の様子を継続的に把握し、支援に反映しています。	放課後の時間帯における児童の疲労や特性に配慮し、安心して過ごせる環境づくりに努めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	広域送迎および多様な利用時間に伴う運営調整の必要性	早朝からの送迎や広範囲への対応により、職員配置や業務調整において、より効率的な運営体制の構築が求められます。	送迎ルートや職員配置の見直しを行い、効率的で安全な運営体制の整備を進めます。
2	限られた時間内での支援内容の充実	平日は利用時間が限られるため、個別支援と集団活動のバランスを図りながら、より効果的な支援の実施に向けた工夫が必要です。	限られた時間の中でも効果的な支援が実施できるよう、支援内容の見直しと個別支援計画との連動を強化します。
3	学校および関係機関との連携のさらなる強化	学校ごとに情報共有の方法が異なることから、支援の一貫性を高めるため、連携体制の強化が求められます。	学校や関係機関との情報共有の機会を確保し、連携の質の向上に努めます。